

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

最上小国川清流未来振興機構代表者会議に出席しました。

【4月25日（火）】令和5年度最上小国川清流未来振興機構代表者会議に出席しました。

この会議は、最上小国川の治水対策による地域の安心安全の確保、内水面漁業の振興等による産業振興及び地域資源を活用した交流促進による観光振興により、最上小国川流域の地域づくりの促進を図るため、毎年開催されています。

会議では、令和5年度に実施する各種イベント内容や最上小国川で行われているゴミ撤去の状況について説明がされたあと、本年度の取組について活発な意見が交わされました。

クリーンアップ大作戦など清掃活動に力を入れているが上流域からまだまだゴミが流れてくる、コロナ制限も解除され訪れる人たちにきれいな川を見せたい、子供たちが安心して遊べる川づくりをしていきたい、そのためには地域一帯の協力が必要とのことでした。また、そう

いった取組を次世代につないでいく、治水や清掃活動等の取組により、安全・安心を担保した上で地域の魅力発信を行っていききたいとのことでした。

最上小国川上流域の国有林を管理する最上支署としても適切な時期・適切な方法（保育、間伐）により森林整備を行い、清流の源である森林の育成・保全に努めることで、地域の取組に寄与していきます。

最上小国川の清流と近隣の山並み



山形県立農林大学校で講義を行いました。

【4月27日（木）】山形県立農林大学校において最上支署職員が講師となって、林業経営学科1，2年生（18名）を対象に講義を行いました。

今回の講義では、「東北森林管理局の取組」と「高齢級国有林高品質材前森スギの供給」について、東北森林管理局と最上支署が取り組んでいる内容をお話したところです。

講義を終えた生徒からは、松くい虫駆除・防除の実施時期やユリノキ植栽に関する質問などがありました。特に多かったのは前森スギブランド材に関する質問で、前森スギと呼ぶようになったのは何時からなのか、近くのエリアにある金山スギとの違いは何なのかといったものです。前森スギ（通信第105号参照）は真室川町及位地区「通称前森団地」から出材される高齢級材で、この貴重な資源を令和4年度にブランド材として認定を受け、付加価値を持たせ安定供給に取り組んでいるところです。

今回は講師として招かれたところですが、当署職員としても貴重な体験をさせていただきました。講義をとおして次代の林業の担い手が着実に育成されていることを感じつつ、今後も担い手育成への協力を行っていきます。

前森スギに関する講義の一幕



山形森林管理署 最上支署
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

